

行政視察等報告書

令和5年6月20日

長野市議会議長 寺 沢 さゆり 様

報告者氏名 (代表)
水道事業広域化調査研究特別委員会
委員長 小 林 義 直

この度、行政視察をしましたので、その概要について下記のとおり報告いたします。

記

- 1 視 察 区 分 水道事業広域化調査研究特別委員会行政視察
- 2 視察者氏名 小林 義直、箱山 正一、塩入 学、滝沢 真一、
若林 祥、金沢 敦志、阿部 孝二、堀内 伸悟
- 3 随 行 者 書記 伊藤 祐一
- 4 視 察 期 間 令和5年4月24日 (月)

5 視察先及び視察事項

視 察 先	視察日時	視 察 事 項
① 染屋浄水場 (上田市古里 2250)	4月24日 (月) 午前10時	・ 上田市の施設見学と概要調査
② 諏訪形浄水場 (上田市諏訪形 613)	4月24日 (月) 午前11時	・ 県企業局の施設見学と概要調査
③ 四ツ屋浄水場 (長野市川中島 町四ツ屋100)	4月24日 (月) 午後1時10分	・ 県企業局の施設見学と概要調査
④ 犀川浄水場 (長野市差出南 3丁目10-1)	4月24日 (月) 午後1時40分	・ 長野市の施設見学と概要調査と理事者との意見交換

月日	視 察 地 (市町村名等)	考 察 (所感、課題、提言等)
		<p>【所感】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 染屋浄水場の緩速ろ過方式は大変興味深い。この方式の特徴は砂層や砂利層を用いたろ過地を1日あたり3～5m程度の速度でゆっくりとろ過させている（急速ろ過方式は1日120m）。利点としては砂層等に存在する微生物の働きによって浄化される自然界の法則に習った仕組みであり、消毒用の塩素使用量は少なく済み環境ホルモンの発生が少ない理想的なろ過方式である。浄水に使う敷地面積は広くなり、この方式が使われなくなったことも理解できるが、今回の視察でよく理解できた。 ・ 上田市が水道事業広域化に関心が低いと聞いている。「良質な水を他の地域と混ぜたくない」との思いが強いのではないか。この辺も課題である。 ・ 同時に視察した染屋浄水場の敷地内にある小水力発電所は「上田市地域新エネルギービジョン」に基づき地球温暖化防止対策として新エネルギーを活用する施設である。上野配水池マイクロ水力発電事業も未利用エネルギーの活用を行っている。長野市の水道事業の関連施設でもどこでも可能性があり、本市でも検討すべきである。 ・ 各浄水場によって特色があり、竣工の年や施設能力、浄水方法、水源が何か、水力発電事情の有無等の違いがあった。特に、今回の視察で感じたことは現場を管理する職員の技術力である。水道量の上昇抑制や水道施設の更新等の財政負担軽減のための広域化のメリットが強調されがちではあるが、安心安全な水の供給に欠かせないのは技術力の継続である。浄水管理には高い専門的な知識と技術がもとめられ、継続的に人材を確保し、育成していく必要があると感じた。今後の人口減少社会を見据え、持続可能な安定した水道水の提供のための人員体制も広域化とともに検討していく必要がある。 ・ 今回の視察を通じて「水道事業広域化」に向けてまだまだ検討すべき課題が多いと感じた。それは地域性である。4か所それぞれが歴史的背景や、地形、水源に応じたやり方で、それぞれの地域らしいおいしい水をつくっている。これをあえて広域化してまとめることの本来の意義はどこにあるのか考えるきっかけになった。どこも抱える問題や課題は、施設の老朽化と、専門的な人材の確保だろう。ただ水道料金を安くすることが目的ではなく、災害に強い安心安全な水をこれから先の未来も市民に提供し、その仕事を支える人材の確保や育成を考えると、人口減少社会にあって、安い、高い、うまい、まずいの議論ではなく、安定した水の供給のため、地域間でお互いに支えあう時期に来ていると感じた。 <p>【視察終了後の意見交換にて】</p> <p>最後に犀川浄水場会議室において、上平上下水道管理者同席のもと、本特別委員会のテーマでもある『水道事業広域化』について、後の施設整備について、広域化にむけた今後のスケジュールについて意見交換を行った。</p> <p>【委員からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広域化によるメリットやデメリットなどをもっとわかりやすく市民へ伝える必要がある。 ・ 最近の新聞（信毎）の記事にもあったが、今回の広域化の先にある、さらなる県内の広域化の予定などあるのか県全体のビジョンも把握しておく必要がある。

月日	視 察 地 (市町村名等)	考 察 (所感、課題、提言等)
		<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの住民説明会で出た質問中にはいい意見もあったので、Q&A方式で資料添付してはどうか。 ・この後予定されている「市民と議会との意見交換会」前にもう一度打ち合わせをしないと、なかなか興味を引きにくく、参加者が少ないのではないかと。配布資料なども工夫したい。